

2024年 第6回ものづくりチャレンジ大作戦 革の三角コインケースを作ろう

現代生活学部 生活デザイン学科

講座の趣旨

今回で第6回目となる一般社団法人ものづくり文化振興協会が主催する本事業は、ものをつくる体験が極めて少ない現代の子ども達に、ものづくりや科学・技術の楽しさ、面白さ、奥深さ、そして大切さを伝え、現代社会を豊かに生活する為に求められる意思決定力、好奇心、探究力、考える力、職業への興味関心を育てることを目的としています。その実現に向け、地域住民、職人、企業人、教員、学生、生徒などが指導者となり、選ぶ、みる(遊ぶ・観察・小実験・試行)、つくる(製作・試行錯誤・考える)、いかす(遊ぶ・観察・発展・職業)のプロセスを通して、地域子ども達がより身近にものづくりや科学・技術に触れられる環境づくりが、この事業の主旨です。

本学からは3講座の講座提供が行われましたが、本稿では町田市子どもセンターまあちの会場で生活デザイン学科の3・4年生が革の三角コインケース制作講座に講師として参加したことについて報告します。



(写真上)三角コインケースの試作見本

(写真左)ものづくりチャレンジ大作戦ポスター

(写真右)ものづくりチャレンジ大作戦 開催講座一覧

本講座では、本学生活デザイン学科の学生がこれまでの学びを活かしながら講師となり、低学年からの参加もできるように安全性や工程を工夫し、普段子どもたちが触れることの少ない牛革を使用して、革の特徴を学びながら皮革の取り扱いやものづくりの楽しさなど時間の許す限りそれぞれ工夫を凝らした作品が制作できるよう工夫して講座の企画運営を行いました。

当日の様子

活動は4月から始まり、全体のスケジュールを確認し、活動計画を立てて進めました。本年は、革で三角コインケースを作るというテーマはあらかじめ決めてあったため、革工作を行うにあたり、使用する道具や工程の安全性を確認しながら、試作を繰り返しました。広報用の1分動画や手引書の作成、手順や安全の確認など事前準備を進め、講座を企画運営していく過程で、大学での学びを振り返る機会となりました。



プロジェクト概要

- パートナー
一般社団法人ものづくり文化振興協会
- 担当教員
現代生活学部 生活デザイン学科
助教 佐々木麻紀子
- 学生
現代生活学部 生活デザイン学科
3年生 3名
4年生 5名 計8名
- 実施期間
令和6年4月～8月